

新型コロナウイルス感染症のための学校生活対応マニュアル

～ 新たな学校生活様式の確立のために ～

古河市立駒羽根小学校
2021/04/01

	児童	教師
各家庭	<ul style="list-style-type: none"> □体温チェック→健康観察カードに記入→ランドセルの名札ケースに入れる。 □持参するもの <ul style="list-style-type: none"> ・健康観察カード（ランドセルに付けて） ・マスク（着用） *手作りマスクの推奨 ・ハンカチ ・水筒（水・お茶・スポーツドリンク） 	<ul style="list-style-type: none"> ■体調・体温チェック（37.5℃以上、倦怠感等）→出勤停止→管理職に必ず電話連絡→（4日間以上）熱が続いた場合は保健所に連絡 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 古河保健所帰国者・接触者相談センター 0280-32-3021 筑西保健所一般電話相談窓口 0296-24-3911 </div>
児童登校前		<ul style="list-style-type: none"> □マスク着用し出勤→石けん手洗い、アルコール消毒 ■出勤後体調が悪いときは直ぐに検温→管理職へ報告→退勤→（4日間以上）熱（37.5℃以上、倦怠感等）が続いた場合は保健所に連絡 □アルコール消毒液は事前に教室に置いておく。 ★PCR検査受診の場合の報告（校長、教頭） <ul style="list-style-type: none"> ①市教委へ電話連絡 ②「報告内容整理票」の聞き取り、作成、報告 *職員→岡崎参事へ 児童→教育総務課（竹内、針ヶ谷）へ □担任 7:50 教室待機、児童登校前に教室換気
児童登校	<ul style="list-style-type: none"> □マスク着用で登校 *一列で歩き、話はしない。 □健康観察カードを担任に見せる。チェックなし *健康観察カードはケースから出さずにランドセルに付けたままでチェックする。 □教室に入る前にうがい、石けん手洗い後入室 □水筒は、手さげやビニル袋に入れて、机のわきに置く。 	<ul style="list-style-type: none"> □欠席の連絡を受けた教師は、欠席連絡票に体温（いつからなど）や症状を具体的に聞き取り記入し、担任へ連絡する。 □欠席連絡なしの家庭への連絡→管理職へ報告→家庭へ電話連絡→欠席の場合は、欠席連絡票に体温（いつからなど）や症状を具体的に聞き取り記入し、管理職に報告する。 □健康観察カードの確認 <ul style="list-style-type: none"> ①体温の確認（37.0℃未満）→うがい、石けん手洗い後入室 ②体温の確認（37.0℃～37.4℃） <ul style="list-style-type: none"> →体調良→保健室養護教諭の問診→うがい、石けん手洗い後入室 *平熱が37.0以上の子への配慮必要 →体調不良→荷物を持ったまま理科室へ→養護教諭による検温、体調確認→体調が悪い場合には管理職へ報告→保護者に迎え依頼 ③検温カード忘れ→荷物を持ったまま理科室へ→養護教諭による検温、体調確認→体調が悪い場合には管理職へ報告→保護者に迎え依頼
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> □朝の歌は（当分の間）なし □当分の間、体調不良による欠席は「出席停止」 □熱中症対策（水分補給） □「コロナいじめ」の徹底指導 	<ul style="list-style-type: none"> □朝の健康観察を児童の表情を見て十分に行う。→異常があれば養護教諭、管理職へ報告 □毎日、「3密」の意識化の指導をする。（児童の自己管理能力の育成） □児童に体調が悪いときは、直ぐに担任へ連絡することの指導
授業	<ul style="list-style-type: none"> □対話の際、マスク着用はもちろん、顔をできるだけ近づけない。 □隣同士机を（できるだけ）離す。 *なるべく2m以上（およそ大人3歩分） □特別教室から戻り、教室に入る前に石けん手洗い □廊下側の窓は全開しておく。 □寒い場合は、上着を着て授業を受ける。 □音楽：歌、リコーダーや鍵盤ハーモニカは（当分の間）なし *単元の入れ替え可 □家庭科：調理実習は、（当分の間）なし *単元の入れ替え可 □外国語：歌はなし（CDを聞くのみ） □体育：体育館を使用する場合窓を開け、換気する。マスクはとる。 *水泳学習中止予定 *体力テスト可（シャトルラン除く） 	<ul style="list-style-type: none"> □できるだけ児童同士の接触を避ける。 □少なくとも対角線上のドアや窓を少し開けておく。 □廊下側の窓は、できるだけ開けておく。 □学校で発熱した児童の対応（朝、家庭科準備室の窓全開 消毒液の設置：養護教諭） <ul style="list-style-type: none"> ①教室（保健室）で検温→37.5℃以上 *保健室で長時間待機を避ける。ベッド使用なし ②家庭科準備室（ソファ）へ 担当者：教頭（教務主任） *フェイスシールド使用 ③養護教諭、管理職へ報告（担任） ④保護者に迎え依頼電話（養護教諭、主事） ⑤家庭科準備室の児童対応は、教頭（教務主任）で行う。 *フェイスシールド使用 *教室から児童の荷物を家庭科準備室へ（担任以外の職員） *児童の付き添いなし *児童対応は、教頭と教務主任は同時に対応しない。 ⑥放課後に児童の体調確認電話（担任） PCR検査受診の場合の報告（校長、教頭）
休み時間 (手洗い、うがいで遅れての入室可)	<ul style="list-style-type: none"> □できるだけ接触を避けるよう心がけ、マスクをしたまま遊ぶ。（気温が高い場合にはマスクをとる。） *当分の間、禁止する遊びは（ボール、遊具） □教室に入る前にうがいや石けん手洗い *うがいは10秒以上 □水分補給の呼びかけ（熱中症対策） □図書室の読書なし 	<ul style="list-style-type: none"> □ドアや窓を全開し換気 □できるだけ接触を避けるよう心がけ、マスクをしたまま遊ぶことの指導。 *当分の間、禁止する遊びは（ボール、遊具）であることの指導 □教室に入る前にうがいや手洗いの呼びかけ、石けん手洗いの指導 □水分補給の呼びかけ（熱中症対策） □図書室は開放するが本の貸し出しと返却のみとする。図書室での読書なし
給食	<ul style="list-style-type: none"> □全員石けん手洗い→アルコール消毒 □全員前向き給食・話をしない。 □自分の給食は、自分で片付ける。 *班でまとめて片付けない。 □牛乳は折りたたんでビニル袋に入れる。 *班でまとめて片付けない。 □歯磨きは通常通り（流しの密集に注意） 	<ul style="list-style-type: none"> □少なくとも対角線上のドアや窓を少し開けておく。 □必ず、配膳台の消毒 □全員石けん手洗い指導→アルコール消毒指導 □席を立たない指導 *3点セットを落とさず流しにいかない。 □配膳後の食缶のふたを閉める。 *おかわりなし *配膳後、食缶に残らないようにする。 □おはし忘れ→教室でわりばしを渡す。 □放送はアナウンスなし、音楽のみ（放送委員の児童も教室で食べる） □歯磨き指導→流しの密集の注意、呼びかけ 
清掃	<ul style="list-style-type: none"> □児童のトイレ清掃なし（放課後全職員で） □児童のゴミ捨てなし（担任で） □マスクをしたまま、黙動清掃 □清掃後は、うがいや石けん手洗い 	<ul style="list-style-type: none"> □ドアや窓を全開し換気 □教室に入る前にうがいや手洗いの呼びかけ、石けん手洗いの指導
昼休み (手洗い、うがいで遅れての入室可)	<ul style="list-style-type: none"> □できるだけ接触を避けるよう心がけ、マスクをしたまま遊ぶ。（気温が高い場合にはマスクをとる。） *当分の間、禁止する遊びは（ボール、遊具） □教室に入る前に石けん手洗い □水分補給 □図書室の読書なし 	<ul style="list-style-type: none"> □できるだけ接触を避けるよう心がけ、マスクをしたまま遊ぶことの指導。 *当分の間、禁止する遊びは（ボール、遊具）であることの指導 □ドアや窓を全開し換気 □教室に入る前に手洗いの呼びかけ、石けん手洗いの指導 □図書室は開放するが本の貸し出しと返却のみとする。図書室での読書なし指導 □熱中症の注意喚起（水分補給）
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> □マスク着用下校 □不要不急の外出をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> □マスク着用下校指導 □不要不急の外出禁止及びうがいや石けん手洗いの呼びかけ
放課後	<ul style="list-style-type: none"> □不要不急の外出をしない。 □自宅でもうがいや石けん手洗い励行 □自宅で児童・保護者が37.5℃以上の発熱があった場合には学校へ連絡することの周知 	<ul style="list-style-type: none"> □毎日、放課後にトイレ（ドアノブ・蛇口・便器）、水道、階段手すり、スイッチをアルコール（次亜塩素酸水）で消毒する。（担当：各階の担任） □職員室のドアは、常に開放しておく。 □毎日、南側校舎のトイレ（ドアノブ・蛇口・便器）、水道、階段手すり、スイッチをアルコール（次亜塩素酸水）で消毒する。（担当：職員室職員） *コロナ残存率 空気中 3h プラスチック 2h 段ボール 24h □教室のアルコール消毒液の補充（各担任） □会議・研修について *短い時間で(max 15分を目指して) *マスク着用 *人数制限